

Image Decoration

イメージに飾り付け

バージョン : 0.900

作成 : 2012 年 06 月 03 日

目次

| | |
|------------------------------|----|
| 本アプリケーションについて | 3 |
| 使用語句について | 3 |
| エディションによる違い | 4 |
| 機能一覧 | 4 |
| 描画機能（共通） | 4 |
| その他機能（共通） | 5 |
| 作品管理機能（シェア） | 5 |
| 各機能の説明 | 7 |
| 起動時 [F] | 7 |
| 起動時 [S] | 7 |
| テキスト入力ダイアログ [F] [S] | 14 |
| テーブル(表)入力ダイアログ [F] [S] | 14 |
| イメージの取込み [F] [S] | 16 |
| スタンプの取込み [F] [S] | 16 |
| イメージの出力 [F] [S] | 17 |
| 作品情報ダイアログ [S] | 18 |
| オプションダイアログ [F] [S] | 18 |
| バージョン [F] [S] | 19 |
| 機能の補足 | 20 |
| 作者より | 21 |

本アプリケーションについて

ImageDecoration（イメージデコレーション）は、用意した画像に別の画像を貼り付けたり、線や円などの描画を行うアプリケーションです。

画像に対して、別の画像を貼り付けたり描画をするところから、画像（イメージ）の飾り付け（デコレーション）と名付けました。

使い方は人それぞれなので、自由に使ってください。地図のイメージにルートを書き込んだり、読み込んだイメージ（例：画や習字など）に添削したりするような使い方をしてもよいのではないのでしょうか。

ありふれた機能のため、アピールできる事もないのですが、機能も限定されている、見た目もシンプルなため、直観的、かつ手軽に使うことができますと思います。

今回フリーウェア、シェアウェアの2つのエディションを用意しました。

基本的な機能はどちらのエディションでも同じように利用できるのですが、シェアウェアではイメージに飾り付けた情報を記録することができます。

2つの違い、機能の一覧については、別項を参照してください。

本アプリケーションは、レジストリへの書き込みは一切行っていないです。

削除する時は、アンインストールの機能をお使いください（インストーラによる導入）。インストーラ版をお使いでない場合は、アプリケーションが保存されているフォルダごと削除してください。

使用語句について

イメージとは？

ベースとなる画像（ファイル）を指します。この画像ファイルは、起動時に取込みを行います。（起動後であればいつでも可能です。）

ファイルの種類は、Bitmap、Jpeg、Png の3種類に対応しています。

スタンプイメージとは？

イメージに貼り付ける画像ファイルを指します。

ファイルの種類は、Bitmap、Jpeg、Png の3種類に対応しています。

スタンプとは？

イメージにスタンプイメージを貼りつける事を意味します。

飾り付けとは？

イメージに、スタンプや描画を行うことを意味します。

作品とは？

飾り付けを行ったイメージを指します。

エディションによる違い

基本的な機能は、全てのエディションが利用可能ですが、作品管理でのみ違いがあります。

| 機能名 | フリー | シェア | 内容 |
|---------|-----|-----|--------------------|
| イメージの選択 | ○ | ○ | イメージを選択します。 |
| 飾り付け | ○ | ○ | イメージにスタンプ、描画を行います。 |
| 作品管理 | × | ○ | 作成した作品を記録します。 |

機能一覧

基本的な描画機能は、フリーウェア、シェアウェアともに利用することができますが、上記スタイルで見ると、作品管理はシェアウェアのみとなっています。

共通機能（フリーウェア、シェアウェアで利用可能）

描画機能（共通）

イメージに描画する機能です。大きく 3 つの種類（補助系、描画系、拡張描画系）に分かれています。

補助系

描画を行うための補助機能です。

| 機能名 | 内容 |
|-------------|---|
| 描画補助（十字線） | カーソルの位置を十字線と座標で表示します。 参考となる線のため、ファイルへ出力する際には描画されません。 |
| 描画補助（グリッド線） | イメージ上にグリッド線を表示します。 参考線のため、ファイルへ出力する時には出力対象外となります。 |
| UNDO | 一つ前の描画状態に戻します。（Undo の Undo はできません。） |
| 初期化 | スタンプ、描画を行っていないイメージのみの状態に戻します。 |

描画系

イメージに直接描画する機能です。実際に描画を行います。

| 機能名 | 内容 |
|----------|--------------------------------------|
| スタンプ | スタンプイメージを貼り付けます。（事前にスタンプイメージを指定します。） |
| テキスト | 入力した文字列を描画します。 |
| 線 | 線を描画します。 |
| 矢印 | 矢印を描画します。 |
| 円 | 円（色で塗りつぶし）を描画します。 |
| 円（枠線のみ） | 円（枠線のみ）を描画します。 |
| 四角 | 四角（色で塗りつぶし）を描画します。 |
| 四角（枠線のみ） | 四角（枠線のみ）を描画します。 |
| 表 | 入力したテーブル（表）を描画します。 |

拡張描画系

飾り付けデータに対して調整を行う機能です。

範囲指定を行い、その範囲内の描画に対して以下の処理を行います。

| 機能名 | 内容 |
|--------|--|
| コピー | 範囲指定内の飾り付けデータをコピーし、指定した位置に貼り付けます。 |
| 削除 | 範囲指定内の飾り付けデータを削除します。 |
| 整列（水平） | 範囲指定内の飾り付けデータで、最も上位置にある飾り付けに合わせて範囲内のデータを整列、再描画します。 |
| 整列（垂直） | 範囲指定内の飾り付けデータで、最も左位置にある飾り付けに合わせて範囲内のデータを整列、再描画します。 |

※Undo で元に戻すことができます。

その他機能（共通）

| 機能名 | 内容 |
|----------|---|
| イメージの取込み | イメージを読み込むダイアログを表示します。 指定したイメージに切り替えます。 |
| スタンプの取込み | スタンプイメージを読み込むダイアログを表示します。 指定したスタンプイメージを、スタンプ一覧に取り込みます。 |
| イメージの出力 | 作品をファイルに保存するダイアログを表示します。 イメージをファイルに保存します。 |
| オプション | 本アプリケーションの環境動作設定を行います。 |
| バージョン | 本アプリケーションの情報を表示します。 シェアウェア用のライセンス認証を行います。 |
| ヘルプ | 本アプリケーションの機能説明のドキュメント（PDF）を表示します。 |

独立機能（シェアウェアでのみ利用可能）

作品管理機能（シェア）

各作品の履歴を残すことができます。

作成途中の状態でも作品を保存することができるので、続きを行ったり、過去に作成した作品を見たり、作成した手順を遡ることができます。

何度でも作品をファイルに保存することができます。（ファイルとして保存されている作品に手を加えることはできません。 同じイメージに同じ飾り付けを行う形になります。）

| 機能名 | 内容 |
|-----|----------------------------------|
| 新規 | 飾り付けを行ったイメージを新規に保存します。 |
| 保存 | 指定した作品情報に対して、飾り付けを行ったイメージを更新します。 |
| 削除 | 指定した作品情報を作品履歴から削除します。 |

| | |
|---------|--------------------|
| 全て削除 | 全ての作品を作品履歴から削除します。 |
| 作品情報の編集 | 作品名、コメントを編集します。 |

各機能の説明

画面構成の説明、およびボタンを押したときの動作について説明します。

以下の記号が付いている項目については、それぞれのエディションを意味します。

[F]：フリーウェア版で動作します。[S]：シェアウェア版で動作します。

各ボタンについている（ESC）や、（F1）は、キーボードのエスケープキー、F1 ファンクションキーを指します。

起動時 [F]

アプリケーションを起動すると、メインのフォーム、およびイメージの選択ダイアログを表示します。

（イメージの選択ダイアログは、オプションで表示しないように変更できます。）

起動時 [S]

アプリケーションを起動すると、メインのフォーム、およびイメージの選択ダイアログを表示します。

（イメージの選択ダイアログは、オプションで表示しないように変更できます。）

初めて起動したときから、30 日間は何の制限もなしで全機能を使用することができます。

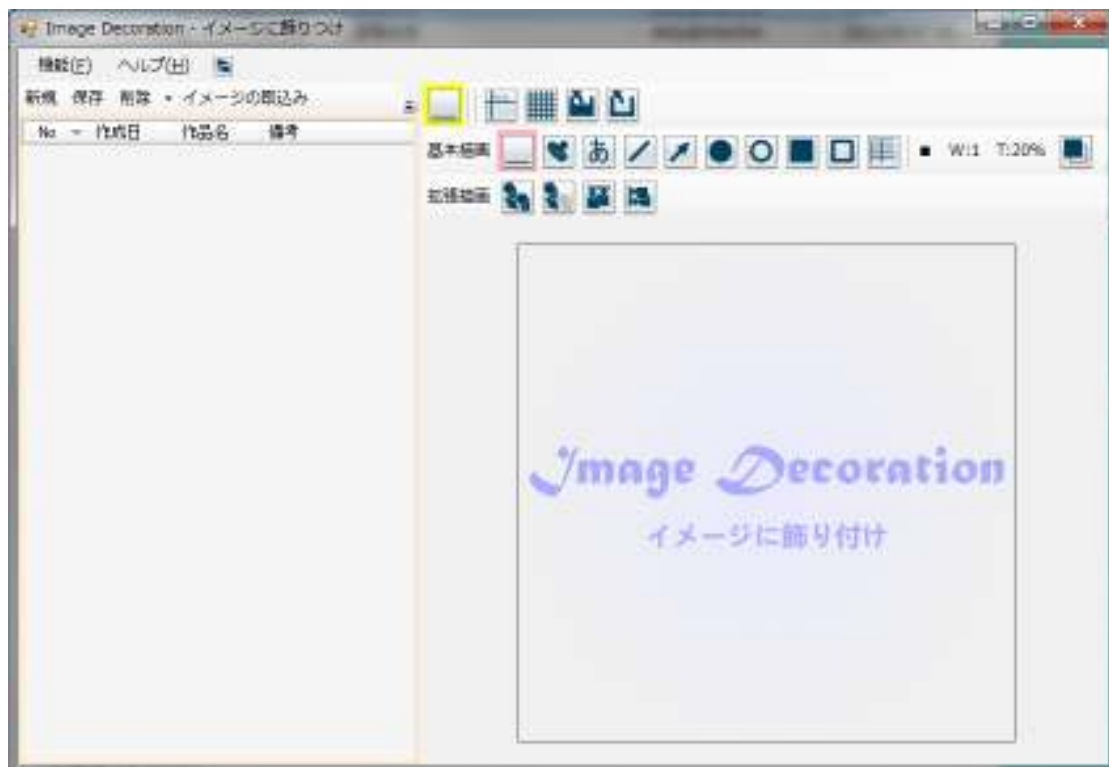
30 日を過ぎると、アプリケーションのライセンス認証を行う旨のメッセージが表示されます。

ライセンス認証を行わなかった場合、参照モードで起動します。

参照モードとは？

今までに作成した作品を見たり、ファイルに保存することは、問題なく行えるのですが、新規に作品を作成したり、変更したりすることができなくなります。

メインフォーム [F] [S]



※↑シェアウェア用のフォームです。フリーウェアでは、作品履歴（左）のエリアは表示されません。

メインメニュー [F] [S]



[イメージの取込み]

イメージを取り込むダイアログを表示します。指定したイメージを描画エリアに表示します。

[イメージの出力]

描画エリアで飾り付けを行ったイメージをファイルに出力するダイアログを表示します。

[スタンプの取込み]

飾り付けの機能の一つ、「スタンプ」のスタンプイメージを取り込むダイアログを表示します。
指定したスタンプイメージをスタンプ一覧に取り込みます。(一度取り込むと削除しない限り表示し続けます。後述)

[オプション]

環境・動作設定ダイアログを表示します。
アプリケーションの環境や動作変更を行います。

[アプリケーションの終了]

アプリケーションを終了します。[×] ボタンを押してもアプリケーションを終了することができます。

[ヘルプ]

本 PDF ファイルを表示します。お使いになる PC に PDF を参照できるソフトウェアを事前に用意しておく必要があります。

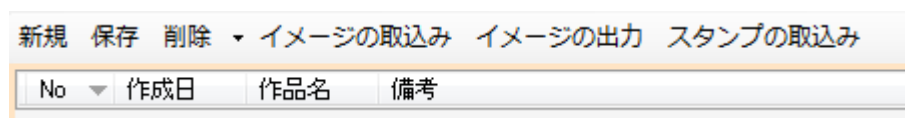
[バージョン]

アプリケーションの情報を参照するダイアログを表示します。
ライセンス認証を行うことができます。

[表示切替]

作品履歴エリアの表示／非表示を切り替えます。([S] のみ)

作品履歴 (左) エリア画面構成 [S]



[新規]

描画エリアで飾り付けが行われたイメージを新規に保存するため、作品登録ダイアログを表示します。作品として保存すると、作品履歴の TOP に表示されます。

[保存]

描画エリアで飾り付けが行われたイメージを、作品履歴で指定された（反転表示中）作品に保存（上書き）します。（「展開」した作品とは別の作品に保存することもできますので、保存する際には注意が必要です。）

[削除]

作品履歴で指定された（反転表示中）作品を削除します。

削除すると、作品履歴からは抹消され元に戻すことができなくなります。

ただし、描画エリアはそのままの状態を保持します。

[全て削除]

作品履歴に表示されている全ての作品を削除します。

削除すると、作品履歴からは抹消され元に戻すことができなくなります。

ただし、描画エリアはそのままの状態を保持します。

[イメージの取込み]

イメージを取り込むダイアログを表示します。指定したイメージを描画エリアに表示します。

[イメージの出力]

描画エリアで飾り付けを行ったイメージをファイルに出力するダイアログを表示します。

[スタンプの取込み]

飾り付けの機能の一つ、「スタンプ」のスタンプイメージを取り込むダイアログを表示します。

指定したスタンプイメージをスタンプ一覧に取り込みます。（一度取り込むと削除しない限り表示し続けます。後述）

[作品の読み込み（展開）]

| | No ▼ | 作成日 | 作品名 | 備考 |
|----|------|-----|-----|-------------------------|
| 展開 | 1 | | 作品1 | 作品の補足説明や記録しておきたい内容を書... |

[選択]

作品履歴を選択すると反転表示（上記）します。[保存] [削除] などで対象となります。

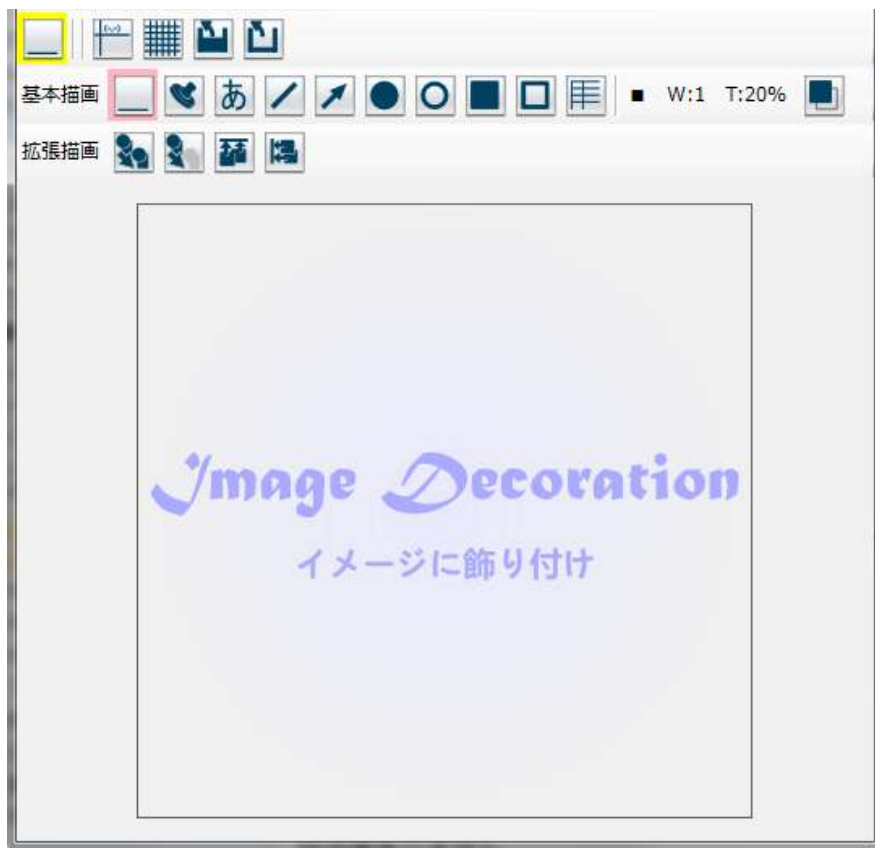
[展開]

クリックすると、描画エリアに作品が表示されます。続きを行ったり、ファイルに出力することができます。

[ダブルクリック]

作品登録ダイアログを表示します。作品日、作品名、備考を変更することができます。

描画（右）エリア画面構成 [S]



[カーソル線]

カーソル位置を表す十字線と座標を表示します。
クリックするたびに表示／非表示を切り替えます。



[グリッド線]

イメージ上にグリッド線を表示します。
クリックするたびに表示／非表示を切り替えます。
グリッド線は飾り付けとはみなしません。



[Undo]

飾り付けの内容を一つ前の状態に戻します。



[初期化]

飾り付けを行っていない素のイメージの状態に戻します。



[デフォルト]

飾り付けを行わないニュートラルな状態にします。
描画エリア内を範囲指定することができます。（ドラッグによる範囲指定）



[スタンプ]

クリックした位置に指定したスタンプイメージを張り付けます。

スタンプイメージの取得方法＞

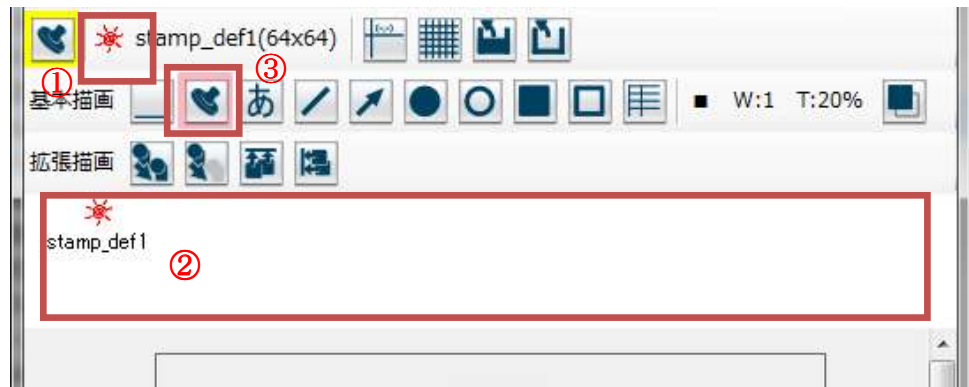
[スタンプの取込み]メニューから実行します。

スタンプイメージの指定方法＞

スタンプイメージは以下の手順①②③を行います。

- ① [スタンプ] をクリックします。“指定されているスタンプイメージ” が表示されます。
- ② “指定されているスタンプイメージ” をクリックします。スタンプ一覧を表示します。クリックするたびにスタンプ一覧は表示／非表示を切り替えます。
- ③ 飾り付けを行いたいスタンプを指定します。クリックすると、“指定されているスタンプイメージ” が変更されます。

スタンプ一覧は、切り替えを行わなければその状態を保持します。保持することで、いつでも指定できる形になります。



[テキスト]

クリックした位置に入力した文字列を描画します。

文字列を入力するダイアログを表示します。



[直線]

クリックした位置からドラッグした先までの直線を描画します。



[矢印]

クリックした位置からドラッグした先までの矢印を描画します。



[円]

クリックした位置からドラッグした先までの円を描画します。

円の濃さ（透明度）、色はあらかじめ指定しておきます。



[円枠]

クリックした位置からドラッグした先までの円（枠のみ）を描画します。

線幅、色はあらかじめ指定しておきます。



[四角]

クリックした位置からドラッグした先までの四角を描画します。
四角の濃さ（透明度）、色はあらかじめ指定しておきます。



[四角枠]

クリックした位置からドラッグした先までの四角（枠のみ）を描画します。
線幅、色はあらかじめ指定しておきます。



[テーブル]

クリックした位置に入力した文字列+表枠を描画します。
文字列+表枠を入力、指定するダイアログを表示します。



[描画色]

直線、矢印、円、円枠、四角、四角枠で描画する時の色を指定します。
カラーダイアログを表示します。



[線幅]

直線、矢印、円枠、四角枠で描画する時の線の幅を指定します。
線幅を表示した一覧から幅を指定します。
一覧に一度カーソルを合わせた後、カーソルが抜けると自動的に一覧は非表示となります。



[透明度]

円、四角の色の塗りつぶしの時の透明度を指定します。
指定するバーが表示されるので、「0%（透明）～100%（透明なし）」を指定します。



[影]

描画した飾り付けに影を表示します。
クリックするたびに影を“つける／つけない”を切り替えます。



影 OFF



影 ON



[複写]

[デフォルト] で範囲指定をしている時に有効な機能です。
範囲指定がされている時、範囲内に飾り付けデータがあるとコピー先を聞いてきます。
指定先としてクリックした位置に、範囲内の飾り付けデータをコピーし、描画します。
Undo が有効です。



[削除]

[デフォルト] で範囲指定をしている時に有効な機能です。
範囲指定がされている時、範囲内の飾り付けデータを削除します。

Undo が有効です。



[水平整列]

[デフォルト] で範囲指定をしている時に有効な機能です。

範囲指定がされている時、範囲内の飾り付けデータで、最も上にある飾り付けデータの位置に範囲内の飾り付けデータを全て移動します。

Undo が有効です。



[垂直整列]

[デフォルト] で範囲指定をしている時に有効な機能です。

範囲指定がされている時、範囲内の飾り付けデータで、最も左にある飾り付けデータの位置に範囲内の飾り付けデータを全て移動します。

Undo が有効です。

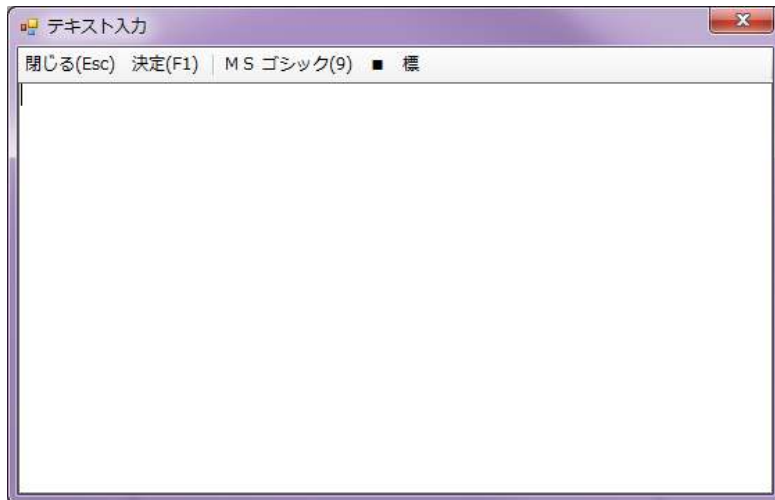
[描画エリア]



描画対象のイメージを表示します。何も指定されていない時は、デフォルトのイメージが表示されます。

テキスト入力ダイアログ [F] [S]

描画する文字列を入力します。



[閉じる]

ダイアログを閉じます。

[決定]

入力した文字列をクリックした位置に描画します。

[フォント]

描画のフォント、およびサイズを指定します。

フォント選択ダイアログを表示します。

[色]

描画する時の色を指定します。

カラーダイアログを表示します。

[初期化]

ダイアログを表示した時のフォント、サイズ、色に戻します。

[入力]

入力したそのままの形で描画します。

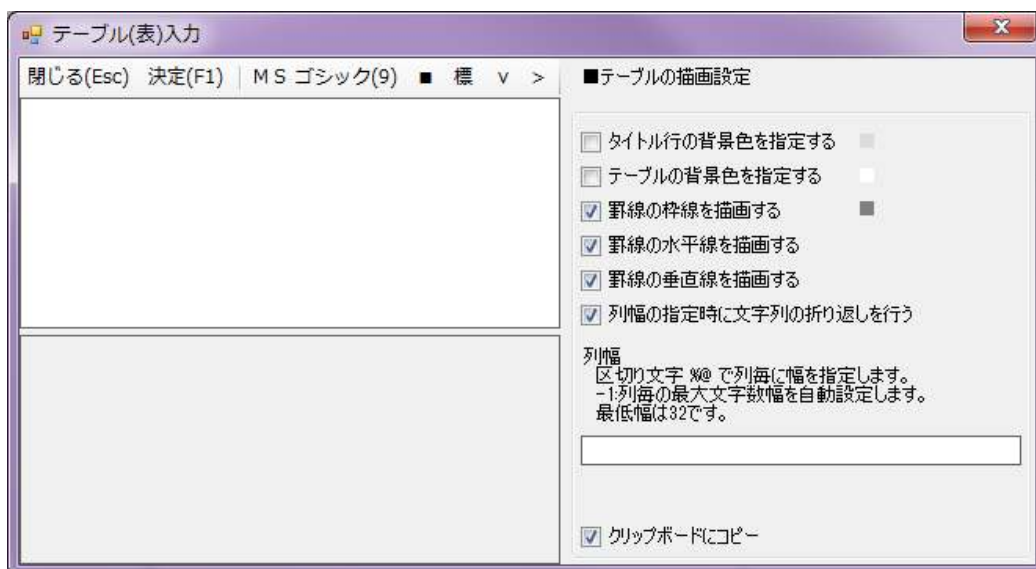
[フォント] [サイズ] [色] を変更すると、入力部に反映されます。

入力部：描画したい文字列を入力します。

テーブル(表)入力ダイアログ [F] [S]

描画する文字列を入力します。

入力した文字列、および設定したテーブルの状態をプレビューに表示します。



[閉じる]

ダイアログを閉じます。

[決定]

入力した文字列をクリックした位置に描画します。

[フォント]

描画のフォント、およびサイズを指定します。

フォント選択ダイアログを表示します。

[色]

描画する時の色を指定します。

カラーダイアログを表示します。

[初期化]

ダイアログを表示した時のフォント、サイズ、色に戻します。

[入力]

入力したそのままの形で描画します。

[フォント] [サイズ] [色] を変更すると、入力部に反映されます。

入力部：描画したい文字列を入力します。

列：%@ を指定すると列を増やすことができます。

行：改行します。

[プレビュー]

入力された文字列、テーブルの描画設定から、描画されるテーブルを表示します。

[テーブルの描画設定]

テーブルの状態を指定します。

タイトル行の背景色を指定する：チェックを入れると、色を指定することができます。

テーブルの背景色を指定する：チェックを入れると、色を指定することができます。

罫線の枠線を描画する：チェックON時、罫線を描画します。

罫線の水平線を描画する：チェックON時、罫線を描画します。

罫線の垂直線を描画する：チェックON時、罫線を描画します。

列幅の指定時に文字列の折り返しを行う：列幅を指定した場合に限り有効です。

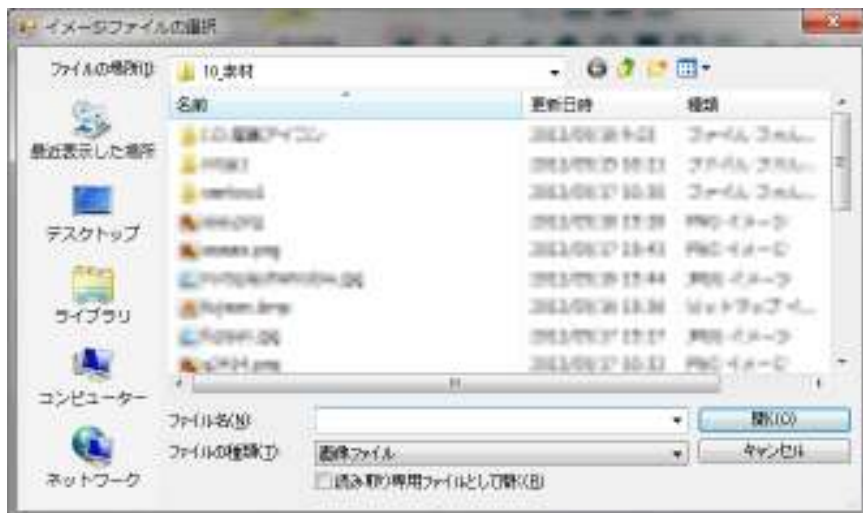
列幅を指定：幅値%@幅値%@幅値・・・と入力します。

例) [100%@200%@300](#) は、列が3つあり、100,200,300の幅でテーブルが作成されます。

イメージの取込み [F] [S]

画像ファイルを指定して、イメージとしてアプリケーションに取り込みます。

飾り付けを行いたいイメージは、その都度取り込む必要があります。



スタンプの取込み [F] [S]

画像ファイルを指定して、スタンプイメージとしてアプリケーションに取り込みます。

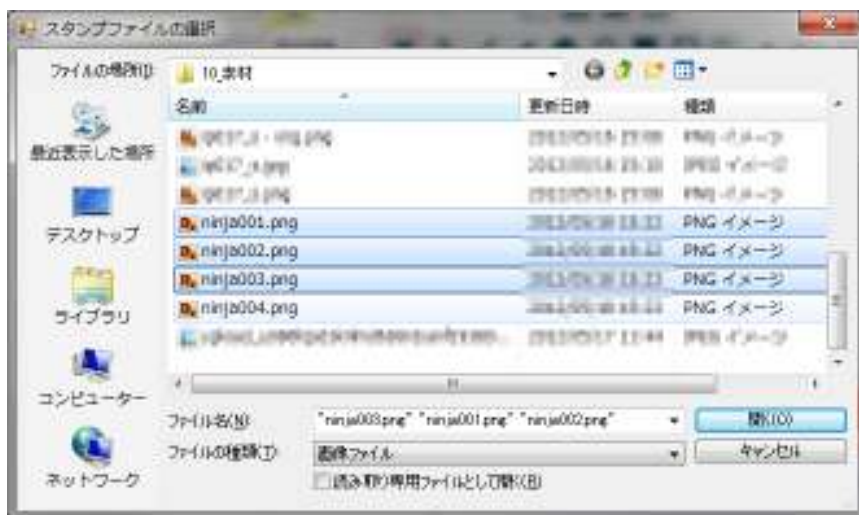
スタンプは一度取り込めば再利用が可能です。(取り込んだ状態を保持します。)

もし、スタンプイメージを削除したい場合は、エクスプローラを起動し、直接ファイルを削除します。

取り込んだスタンプイメージが保存されているフォルダ：

c:\¥***** ¥STAMP¥

*****：アプリケーションが置かれているフォルダ名



参考例) ファイルを複数取り込んでみました。



参考例) 取り込んだ結果、スタンプ一覧を見てみると、増えていることがわかります。

イメージの出力 [F] [S]

描画エリアに飾りつけ中のイメージをファイルに出力します。



[閉じる]

ダイアログを閉じます。

[参照]

保存先のフォルダを指定するダイアログを表示します。

[ファイルの出力]

保存先フォルダ+ファイル名で、飾り付けのイメージをファイルに出力します。

[出力イメージ]

保存対象のイメージを表示します。

作品情報ダイアログ [S]

作品を残すための情報を入力します。

新規作成、および更新はこのダイアログで行います。(共通使用)

| 作品情報 | |
|-------------------------|-------------|
| 閉じる(Esc) 決定(F1) 初期化(F2) | |
| No 1 | [新規] |
| 作成日 | 2012/05/18 |
| 作品名 | タイトル |
| 備考 | |

[閉じる]

ダイアログを閉じます。

[決定]

入力した内容で作品を保存します。

[初期化]

最初に起動した状態に戻します。

[入力]

作成日：(必須) クリックするとカレンダーが表示されます。

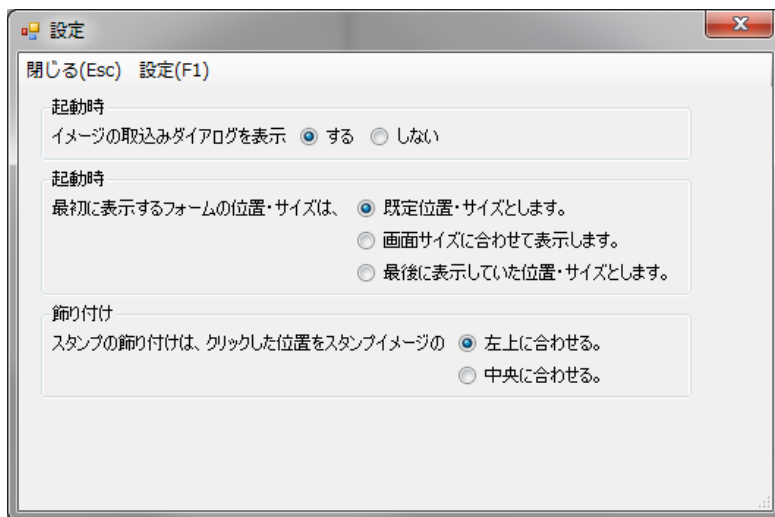
登録したい日付を選択してください。

作品名：(必須) 作品名を入力します。

備考：補足事項を入力します。

オプションダイアログ [F] [S]

アプリケーションの環境・動作の設定を行います。



[閉じる]

ダイアログを閉じます。

[設定]

設定した内容をアプリケーションに反映します。

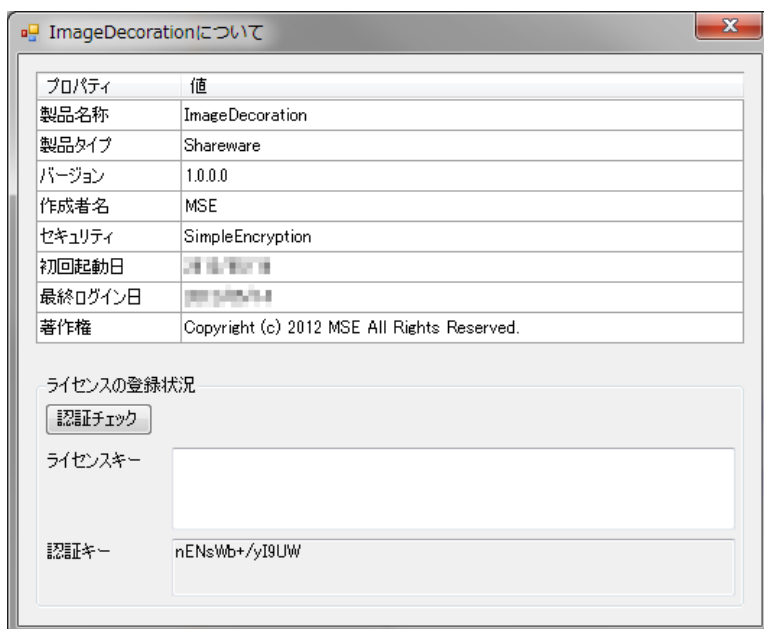
[入力]

各項目のラジオボタンを選択します。

バージョン [F] [S]

アプリケーションの情報を表示します。

ライセンス認証を行うことができます。



シェアウェアの情報例)

[認証チェック]

シェアウェアで購入したライセンスキーを入力した後、ボタンを押します。

ライセンス認証が成功した時は、次回起動から有効期限が解除され、無期限にご利用いただけます。(ただし、今後のバージョンアップを行った場合は、その限りではありません。)

[入力]

ライセンスキー：Vector より購入していただきます。

送られてきたキーを入力します。

機能の補足

- ・ 飾り付けのスタンプイメージは、透過画像も使用できます。 透明色は、マゼンダとしていますので、参考までに載せておきます。(多分、PNG形式で透過画像を作成してしまえば問題ないと思います。)
- ・ どのように使っていただいてもよいのですが、利用するスタンプイメージをネット上から取得する場合は、著作権に気をつけてください。

作者より

この度は、本アプリケーションをダウンロードいただきありがとうございました。

私がこれまで仕事やプライベートでいくつものプログラムを作ってきたのですが、そのほとんどは公開することなく、現在に至っています。

今回の公開は、元々作成していたアプリケーション（簡易電子カルテ）の1機能：“使用していた画像貼り付け”に興味をもたれた方がいましたので、その機能のみを独立させて再構築、単独のアプリケーションとして動かせるようにしました。

ただ、今回はフリーウェアとシェアウェア、2つのエディションで公開しています。ベースとなったアプリケーションが知り合いにのみ公開し、有料で提供していたこともあり、完全無償の形に抵抗があったためです。とはいえ、普段からフリーウェアにはお世話になっているので、飾り付けの機能には制限は設けませんでした。

今後は不具合を中心に対応していきますが、もう少し組み込みたい機能もあるので、時間を見つけて改修していきたいと思っています。

ご意見などいただいた内容で有効活用できそうなものがあれば組み込んでいきたいと考えています。

以上